

令和8年度後期 131 科学と人間生活

- 1 使用教科書 「改訂版 科学と人間生活」(数研出版)
- 2 使用学習書 「科学と人間生活」(NHK出版)
- 3 使用教室 1・2・5・6・9・10組306教室/3・4・7・8・11・12組305教室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日			
1	10月14日(水)	第3編 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用	12	P.116~125	P.64~73	9/13	9/24	10/4	10/5
2	11月18日(水)	第3編 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用 第4編 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球	12、18	P.126~139 P.164~169	P.74~82 P.119~120	10/19	11/1	11/8	11/16
3	12月16日(水)	第4編 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球	17、18	P.170~187	P.108~118	11/26	11/30	12/6	12/14

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されずに返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うら(2枚つづり)の全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-131-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に「1」を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されずに返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポートの作成を行う時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑤ 各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポートごとに、10点満点で採点します。
- ⑥ 成績は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。
①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は科学と人間生活の場合、「レポート全体の評価: レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題: 面接指導=55:30:15」として採点します。最終的に①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します。
- ⑦ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるためにできる限り多くの面接に参加しましょう。

令和8年度 後期 132 物理基礎

- 1 使用教科書 「高等学校 改訂 新物理基礎」(第一学習社)
- 2 使用学習書 「新編 物理基礎」(NHK出版)
- 3 使用教室 306教室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日			
1	10月14日(水)	第二章 第1節 熱とエネルギー	20~22	p.98~115	p.157~181	9/17	9/24	10/4	10/5
2	11月18日(水)	第三章 第1節 波の性質 第2節 音波	24~29	p.116~149	p.182~215	10/22	11/1	11/8	11/16
3	12月16日(水)	第四章 第1節 電荷と電流 第2節 電流と磁場 第3節 エネルギーとその利用	30~40	p.150~183	p.216~267	11/26	11/29	12/6	12/14

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導(授業)出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール・教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、授業に参加していないものとして、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに1枚ずつ提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-132-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかないでください。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑤ 空欄が3つ以上あった場合(記述内容が不十分な場合や図示の問題等で色塗りや作図の指示に従っていない場合も含みます。)は、レポートは受付されず、不備として返却されます。
- ⑥ 次のような場合、レポートは再提出となるので注意すること。
・合格点に満たない場合。 ・空欄が1つ、または、2つあった場合(色塗りや作図などを行っていない場合も含みます。)
- ⑦ 各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に10点満点で採点します。
- ⑧ 成績は、①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体性 の3つの観点から総合的に評価します。①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は物理基礎の場合、レポートの全体的評価:レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題:面接時の取り組み姿勢など=55:30:15として採点します。最終的に、①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します。
- ⑨ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるために、できる限り多くの面接に参加しましょう。

令和8年度後期 133 化学基礎

- 1 使用教科書 「高等学校 改訂 新化学基礎」(第一学習社)
- 2 使用学習書 「新編 化学基礎」(NHK出版)
- 3 使用教室 (305教室)
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日			
1	10月14日(水)	第2章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸と塩基の反応	22~32	P.98~139	P.74~101	9/17	9/24	10/4	10/5
2	11月18日(水)	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応	33~38	P.140~167	P.102~121	10/19	11/1	11/12	11/16
3	12月16日(水)	第2章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	18~23	P.82~113	P.58~82	11/29	11/30	12/6	12/14

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されずに返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-133-回数(後期は後期との重複を避けるために回数の前に「1」を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間となります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

後期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポートの作成を行う時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑤ 各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポートごとに、10点満点で採点します。
- ⑥ 成績は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は化学基礎の場合、「レポート全体的評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導＝55：30：15」として採点します。最終的に①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します。
- ⑦ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるためにできる限り多くの面接に参加しましょう。

令和8年度後期 134 生物基礎

- 1 使用教科書 「改訂版 新編 生物基礎」(数研出版)
- 2 使用学習書 「新編 生物基礎」(NHK出版)
- 3 使用教室 (305教室)
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日			
1	10月14日(水)	第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 第2節 体内環境の維持のしくみ 第3節 免疫のはたらき	17~23	P.92~117	P.50~68	9/17	9/24	10/4	10/5
2	11月18日(水)	第3節 免疫のはたらき 第4章 生物の多様性と生態系 第1節 植生と遷移	24~30	P.118~143	P.69~91	10/19	11/1	11/8	11/16
3	12月16日(水)	第2節 植生の分布とバイオーム 第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全	31~40	P.144~177	P.92~108	11/26	11/29	11/30	12/14

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-134-回数(後期は後期との重複を避けるために回数の前に「1」を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておいてください。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポートの作成を行う時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑤ 各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、10点満点で採点します。
- ⑥ 成績は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は生物基礎の場合、「レポート全体の評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導＝55：30：15」として採点します。最終的に①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します。
- ⑦ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるためにできる限り多くの面接に参加しましょう。

令和8年度 後期 135 地学基礎

- 1 使用教科書 「改訂版 高等学校 地学基礎」(数研出版)
- 2 使用学習書 「地学基礎」(NHK出版)
- 3 使用教室 306教室
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書 ページ	学習書 ページ	面接指導実施日			
1	10月14日(水)	第3編 大気と海洋 (地球の熱収支・大気と海水の運動)	11~16	p.138~170 p.182~193	p.63~90	9/17	9/24	10/4	10/5
2	11月18日(水)	第3編 大気と海洋 (日本の天気と気象災害) 第4編 地球の環境	33~40	p.164~181 p.188~191 p.194~213	p.165~178 p.188~196	10/19	11/1	11/12	11/16
3	12月16日(水)	第5編 太陽系と宇宙	17~24	p.214~250	p.91~114	11/26	11/29	12/6	12/14

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-135-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかないでください。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑤ 空欄が3つ以上あった場合(記述内容が不十分な場合や図示の問題等で色塗りや作図の指示に従っていない場合も含みます。)は、レポートは受付されず、不備として返却されます。
- ⑥ 次のような場合、レポートは再提出となるので注意すること。
・合格点に満たない場合。 ・空欄が1つ、または、2つあった場合。(色塗りや作図などを行っていない場合も含みます。)
- ⑦ 各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に10点満点で採点します。
- ⑧ 成績は、①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体性 の3つの観点から総合的に評価します。①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は地学基礎の場合、レポートの全体的評価:レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題:面接時の取り組み姿勢など=55:30:15として採点します。最終的に、①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します
- ⑨ 必要面接時間は4時間ですが、理解を深めるために、できる限り多くの面接に参加しましょう。

NHKテレビ 高校講座 科学と人間生活

2026年度 年間放送計画表

Eテレ 金曜日・隔週放送 午前10:00～10:20

※ この番組は、前年度の再放送です。
※ 放送時刻は放送番組や特別番組などで変更になる場合があります。
※ その際は番組ホームページでお知らせいたします。

放送日		学習のポイント	
4/24	総合	1 SDGs がひらく未来	●SDGsの今 ●科学の力が未来を変える ●一人ひとりの力で
5/ 8	22	2 微生物との共生 ～ヒトの体と細菌～	●細菌のバリエーション ●腸内フローラ ●病気
		3 ノーベル賞学者 大村 智 ～微生物を暮らしに役立てる～	●発酵食品 ●生態系の中での微生物の役割 ●微生物で医薬品を作る
6/ 5		4 視覚 ～私たちが見ている世界～	●目の構造 ●盲疾・点字 ●体内時計
19	7/ 3	5 病との闘い ～体の状態を健康に保つ～	●感染症 ●アレルギー ●腫瘍病
		6 遺伝子とは… ～iPS細胞ってなに？～	●臓器の複製 ●遺伝子はどう働く？ ●遺伝子研究の未来
17		7 リサイクル ～地球と資源～	●プラスチックのリサイクル ●金属のリサイクル ●ガラスのリサイクル
31	化学	8 スマートフォンのメカニズム ～金属とセラミックス～	●金属の純度と用途 ●セラミックス ●セラミックス
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の別開帳をはなれて放送します。			
9/11	25	9 プラスチックの科学	●プラスチックの種類 ●プラスチックの性質 ●マイクロプラスチック
		10 繊維がひらく未来 ～衣料の科学～	●天然繊維 ●化学繊維 ●新しい繊維
10/ 9		11 グルメの神髄 ～食品の科学～	●三大栄養素 ●ビタミンとミネラル (無機質) ●新しい創作料理
23	11/ 6	12 テレビ技術の発展 ～光の性質～	●光の色と波長 ●多様な色を作る ●立体映像
		13 自動運転のしくみ ～電磁波の役割～	●宇宙から守る ●障害物を知る ●自動運転が描く未来
20		14 エアコンのメカニズム ～熱と温度～	●熱の利用 ●ヒートポンプ ●エアコンのしくみ
12/ 4	18	15 発電のしくみ ～エネルギーの科学～	●これまでのエネルギー ●姿を変えるエネルギー ●再生可能エネルギー
		16 SDGs と物理	●世界のエネルギーミックス ●途上国のエネルギー事情 ●原子力発電
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の別開帳をはなれて放送します。			

※ 「タイトル/学習のポイント」は、
制作/編集/放送/再放送/再放送/再放送

1/15	17 暦とくらし ～太陽系の中の地球と月～	●太陽と月 ●潮の満ち引き ●暦の歴史
29	18 太陽が動かす大気と水 ～気象の科学～	●太陽のエネルギー ●大気と海洋 ●気象と気象災害
2/12	19 世界の絶景ポイント ～地球の活動がもたらす景観と災害～	●プレートとの動き ●火山活動 ●多様な地形
26	20 地震と津波 ～自然災害に備える～	●地震災害 ●津波災害 ●災害を予測する
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の別開帳をはなれて放送します。		

NHK テレビ 高校講座 物理基礎
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 木曜日 午前 10：30～10：50

※ この番組は、前半部の再放送です。
※ 放送時刻は試験番組や特別番組などで変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	編	タイトル	学習のポイント
4/16	1 編 物体の運動とエネルギー	1 運動の表し方	●運動の表し方 ●速さの表し方 ●変位と速度
23		2 等速直線運動	●ものの動きをグラフで表す ●ものの動きを式で表す ●合成速度と相対速度
30		3 速度が変わる運動	●速度が変わる運動を調べる ●加速度の表し方 ●加速度が一定の運動を調べる
5/ 7		4 等加速度直線運動	●加速度が一定の運動をグラフで表す ●加速度が一定の運動を式で表す ●落下する物体の運動
14		5 自由落下運動	●自由落下運動の加速度 ●落下運動を式で表す
21		6 投げられたものの運動	●鉛直投擲 ●水平投射 ●斜方投射
28		7 カとつり合い	●カとは ●カを表し方 ●2カのとつり合い
6/ 4		8 カの合成と分解	●2つの力を1つのカと見なす ●3つ以上のカのとつり合い ●1つの力を2つに分ける
11		9 垂直抗力と弾性力	●垂直抗力 ●弾性力 ●フックの法則
18		10 慣性の法則	●ものはなぜ動くのか ●慣性 ●カがはたらくと速度が変わる
25		11 運動の変化とカ	●カと加速度 ●質量と加速度 ●運動方程式
7/ 2		12 作用反作用の法則	●力はペアで現れる ●作用・反作用の法則 ●運動の3法則
9		13 動摩擦力和静止摩擦カ	●動摩擦カ ●静止摩擦カ ●最大静摩擦カ
16		14 空気の抵抗力	●空気の抵抗力 ●重力 ●抵抗の型
23		15 水圧と浮カ	●水圧 ●浮カ ●アルキメデスの原理
30		16 仕事と仕事率	●仕事 ●仕事の原理 ●仕事率

夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金)
高校講座全体から選んだ復習のための再放送などを
科目の別枠をはなれて放送します。

9/ 3	1 編 物体の運動とエネルギー	17 運動エネルギー	●動いている物体の持つエネルギー ●運動エネルギーを式で表す ●仕事とエネルギー
10	2 編 電磁気とエネルギー	18 位置エネルギー	●高いところにある物体が持つエネルギー ●ばねに関するエネルギー ●位置エネルギー
17		19 カ学的エネルギーの保存	●カ学的エネルギーとは ●カ学的エネルギー-保存の法則 ●カ学的エネルギーが保存されないとき

※ 「タイトル/学習のポイント」は、
番組の放送予定表に必ず掲載されます。

24	20 温度と熱	●温度 ●熱量 ●物質の三態 ●熱量の保存 ●熱量 ●比熱容量
10/ 1	21 熱の移動と保存	●内部エネルギー ●熱のエネルギー-保存則 ●熱伝導と不可逆変化
8	22 熱と仕事	●ここまでの物理基礎の学習成果を使って問題を解決する
15	23 物理で解決しよう ①	●ここまでの物理基礎の学習成果を使って問題を解決する
22	24 波の表し方	●波とは ●波の特徴を表す ●媒質の振動のようすを表す
29	25 横波と縦波	●横波と縦波 ●媒質とグラフ ●媒質と波
11/ 5	26 波の重ね合わせ	●波の独立性と重ね合わせの原理 ●電圧波 ●波の反射
12	27 音波	●音の3要素 ●音の速さ ●うなり
19	28 弦の固有振動	●固有振動数 ●共振 ●弦振の基礎
26	29 気柱の固有振動	●気柱の基礎 ●気柱にできる定在波 ●管楽器の仕組み
12/ 3	30 静電気と電流	●静電気 ●電子と電気量 ●電流
10	31 電流と電気抵抗	●電圧 ●電気抵抗と電気抵抗率 ●抵抗抵抗と並列接続
17	32 電力と電力屋	●電気エネルギー ●電力 ●電力屋
24	33 電流が作る磁場	●磁石のまわりの磁界 ●電流がつくる磁界 ●電流が磁界から受けるカ

冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金)
※ 12月31日～1月3日は休止です。
高校講座全体から選んだ復習のための再放送などを
科目の別枠をはなれて放送します。

1/14	2 編 電磁気とエネルギー	34 発電機のしくみ	●電磁誘起 ●誘起起電力 ●発電
21	3 編 電磁気とエネルギー	35 直流と交流	●直流と交流 ●変圧器 ●送電
28		36 電磁波	●電磁波 ●電磁波の分類 ●電磁波の利用
2/ 4	4 編 電磁気とエネルギー	37 物理で解決しよう ②	●ここまでの物理基礎の学習成果を使って問題を解決する
11		38 エネルギーの変換と保存	●さまざまなエネルギー ●エネルギーの変換と保存 ●エネルギーの利用
18		39 原子核のエネルギー	●放射線と核エネルギー ●放射線のエネルギー型 ●放射線の利用と安全性
25		40 エネルギーの利用と課題	●人間生活とエネルギー ●使いやすいエネルギーの形 ●持続可能な社会

春期講座 3月1日(月)～4月2日(金)
(放送予定)
高校講座全体から選んだ復習のための再放送などを
科目の別枠をはなれて放送します。

NHKテレビ 高校講座 化学基礎
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 火曜日 午前 10：20～10：40

※この番組は、前年度の再放送です。
※放送時刻は変更の可能性があります。
※放送時刻は変更の可能性があります。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/14	1 私たちのくらしと化学	●人間の歴史と化学 ●金属からプラスチックまで ●化学の発展とは？
21	2 純物質と混合物	●純物質の性質 ●混合物の性質 ●混合物の分離と精製
28	3 物質の三態	●物質の状態変化 ●粒子の熱運動 ●粒子間の力
5/ 5	4 単体と化合物	●元素と元素記号 ●単体と化合物 ●同素体
12	5 元素の認識	●炎色反応で元素を調べる ●この元素は何？ ●初級による検出
19	6 原子	●原子の構造 ●原子の大きさや質量 ●同位体
26	7 原子核と電子	●原子番号 ●質量数 ●原子の電子配置
6/ 2	8 電子殻と電子配置	●電子の軌道 ●殻容ってなに？ ●原子番号と電子配置の秘密
9	9 元素の周期表	●周期表とは？ ●元素の分類 ●元素の性質
16	10 イオンの形成	●イオンとは？ ●イオンの分類 ●イオン化エネルギー
23	11 イオン結合とイオン結晶	●陽イオンと陰イオンの結合 ●イオンでできた化合物 ●イオンでできた化合物の例
30	12 分子と共有結合	●分子とは？ ●共有結合 ●結合と物性
7/ 7	13 分子の極性	●電気陰性度 ●結合の極性 ●無極性分子と極性分子
14	14 金属と金属結合	●金属の性質 ●金属結合とは？ ●金属の利用
21	15 物質の性質を学ぶ① ～無機物質～	●身の回りの無機物質 ●無機物質の活用 ●無機物質の可能性
28	16 物質の性質を学ぶ② ～有機化合物～	●有機化合物 ●高分子化合物とは？ ●新しい機能を持ったプラスチック
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		
9/ 1	17 構成粒子と物質の分類	●記号 ●周期表と元素記号 ●元素の性質と性質
8	18 原子量・分子量・式量	●原子の相対質量 ●原子量と同位体の存在 ●分子量・式量を求める
15	19 物質量	●アボガドロ定数 ●物質量と粒子数の関係 ●物質量から何がわかる？

※「タイトル/学習のポイント」は、
制作の都合により変更の可能性があります。

22	20 物質量と気体の体積	●気体1molの体積 ●アボガドロの法則 ●気体の状態と分子数
29	21 溶液の濃度	●溶解と溶液 ●質量パーセント濃度 ●モル濃度
10/ 6	22 化学反応式	●化学反応式 ●化学反応式の書き方 ●イオン反応式
13	23 化学反応式と量的関係	●化学反応式の係数 ●係数と物質の量 ●化学反応の量的関係
20	24 化学がたどってきた道	●世界の化学 ●日本人の化学 ●日本の化学
27	25 酸と塩基	●身近な酸と塩基を探そう！ ●酸・塩基ってなに？ ●広い意味での酸・塩基
11/ 3	26 酸と塩基の強さ	●強い酸と弱い酸 ●電離度を考えるよう！ ●酸と塩基の強さ
10	27 水素イオン濃度とpH	●H ⁺ とOH ⁻ の濃度 ●pHってなに？ ●酸性・中性・塩基性
17	28 指示薬とpHの測定	●指示薬の性質 ●pHの測定 ●指示薬の性質
24	29 中和反応と塩の性質	●中和反応とは？ ●塩の性質 ●正塩と酸塩？ 中性？ 塩基性？
12/ 1	30 中和反応の利用	●食料の改良にも中和反応 ●食品にも中和反応 ●中和反応の利用
8	31 中和反応の量的関係	●H ⁺ とOH ⁻ で何がわかる？ ●酸と塩基の量的関係 ●中和したことを確かめる
15	32 中和滴定	●中和滴定とは？ ●中和滴定をやってみよう ●滴定曲線と指示薬の選択
22	33 酸化・還元	●酸化のやりとり ●還元剤と酸化剤 ●酸化還元反応の例
1/12	34 酸化・還元と酸化数	●酸化数の求め方 ●酸化数の変化と酸化・還元 ●酸化剤と還元剤とは？
19	35 酸化剤と還元剤	●酸化剤と還元剤の反応 ●酸化剤と還元剤の利用 ●酸化剤と還元剤の性質
26	36 金属のイオン化傾向	●金属のイオン化傾向と反応性 ●金属の性質と性質 ●金属の性質と性質
2/ 2	37 電池と電気分解	●電池のしくみ ●一次電池と二次電池 ●電池の性質と性質
9	38 身近な酸化還元反応	●酸化還元反応と日常生活 ●酸化還元反応の例 ●酸化還元反応の性質
16	39 化学が拓く世界① ～くらしを支える科学技術～	●身近な科学技術 ●化学が拓く世界① ～くらしを支える科学技術～
23	40 化学が拓く世界② ～持続可能な社会と科学技術～	●持続可能な社会と科学技術 ●化学が拓く世界② ～持続可能な社会と科学技術～
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		

NHKテレビ 高校講座 生物基礎
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 火曜日 午前10:00～10:10

※ この番組は、前年度の再放送です。
※ 放送時期は本放送や特別番組などで変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせいたします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/14	1 生物の特徴	●生物と無生物のちがいをあげよう ●動物と植物のちがいを ●動物でも植物でもないもの ●地球上にすむ多様な生物 ●近似的系統（系統樹） ●進化の証拠
21	2 生物の多様性	●生物の特徴 ●細胞・遺伝・DNA ●エネルギー・恒常性
28	3 生物の共通性	●真核細胞の構造 ●原核細胞の構造 ●ウイルスは生物か？ ●生命活動とエネルギー ●ATPの構造 ●代謝
5/ 5	4 細胞の特徴	●酵素のはたらきを調べよう ●酵素の構造とはたらき ●酵素の性質
12	5 生体とATP	●なぜ呼吸をするのか？ ●呼吸の化学反応 ●ミトコンドリアの構造とはたらき ●なぜ光合成をするのか？ ●光合成の化学反応 ●細胞内共生説とは何か？
19	6 酵素のはたらき	●遺伝情報と形質 ●DNAと染色体 ●ゲノム
26	7 呼吸	●塩基の塩基性 ●DNAの構造 ●塩基の並び方 ●体細胞分裂を説明しよう ●DNAが複製されるしくみ ●細胞の分裂とDNA
6/ 2	8 光合成	●五大栄養素とは何か？ ●生命活動とタンパク質 ●タンパク質とアミノ酸 ●アミノ酸とDNAの対応 ●DNAからタンパク質へ ●DNAとRNAの違い
9	9 生物と遺伝子	●断片のしくみ ●複製のしくみ ●遺伝子図表 ●受精卵の特徴 ●細胞の分化 ●IPS細胞
16	10 DNAの構造	●遺伝子のちがいを ●遺伝子の表現 ●変異の起こる仕組み
23	11 DNAの複製と分配	●夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 夏期講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間をとられて放送します。
30	12 タンパク質	●体内環境をつくる体液 ●恒常性とは何か？ ●体内環境を維持するしくみと循環系 ●運動前後の体の変化 ●心臓の拍動の調節 ●自律神経系による調節 ●さまざまな神経 ●脳の構造とはたらき ●睡眠について
7/ 7	13 タンパク質と遺伝情報 ①	
14	14 タンパク質と遺伝情報 ②	
21	15 細胞の分化と遺伝子	
28	16 遺伝子と私たち	
9/ 1	17 体内環境	
8	18 神経系による情報伝達 ①	
15	19 神経系による情報伝達 ②	

※ [タイトル/学習のポイント] は、
制作年の放送でそのタイトルと内容を一致させます。

22	20 内分泌系による情報伝達	●ホルモンとは何か？ ●ホルモンによる調節 ●ホルモンの分泌量の調節 ●血糖とは何か？ ●血糖濃度を調節するしくみ ●糖尿病とは
29	21 血糖濃度の調節	●体内環境を調節している器官 ●心臓、肝臓、腎臓の構造とはたらき ●さまざまな器官の病気 ●体を守るしくみ ●自然免疫 ●免疫細胞 ●免疫反応
10/ 6	22 人体図鑑	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
13	23 免疫のしくみ ①	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
20	24 免疫のしくみ ②	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
27	25 免疫の応用	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
11/ 3	26 免疫とさまざまな疾患	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
10	27 体内環境と私たち	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
17	28 身のまわりの植生 ①	●土壌のいろいろな ●森林の植物と土壌 ●生物の環境形成作用 ●植生の遷移の要因 ●ゼラニウムと二次遷移 ●気候への生理的応答 ●暖かくなる生物学的反応 ●動物との関係
24	29 身のまわりの植生 ②	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
12/ 1	30 植生の遷移	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
8	31 さまざまな植物の環境への適応	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
15	32 遷移とバイオーム ① ～世界のバイオーム～	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
22	33 遷移とバイオーム ② ～日本のバイオーム～	●免疫細胞と二次免疫 ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み ●免疫の仕組み
1/12	34 生態系における生物の多様性 ①	●ちりめんじゃこの生態系から考えること ●地味な生き物から生態系 ●動物園と生態系 ●海の生物の多様性と環境 ●陸の生物の多様性と環境 ●生物の多様性の3つの視点 ●生態系の関係性とは ●エコーステーム ●生物種の絶滅
19	35 生態系における生物の多様性 ②	●人為的規制 ●生態系のバランス ●バイオフィーム問題 ●生物の多様性を守る国際制度 ●生態系サービス ●環境アセスメント
26	36 生態系における生物間の関係	●外来生物が生態系に与える影響 ●レッドデータブック ●人と生態系の共存 ●バイオームと人々の生活 ●人類世の時代とは？ ●この地球で私たちが生きていくには？
2/ 2	37 生態系と人為的関係	
9	38 生態系の保全 ①	
16	39 生態系の保全 ②	
23	40 生態系と私たち	
春期講座	3月1日(月)～4月2日(金)	夏期講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間をとられて放送します。

NHKテレビ 高校講座 地学基礎
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 火曜日 午前10：40～11：00

※この番組は、前年度の放送です。
※放送時刻表は変更や休番組などで変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	編	タイトル	学習のポイント	
4/14	第1編 私たちの大地	1 地球の形と大きさ	●地球の大きさ ●地球の形 ●回転楕円体	
21		2 地球の構造とマントル	●核 ●マントル ●地殻	
28		3 地球内部の動きとプレート	●リソスフェアとアセノスフェア ●プレートテクトニクス ●マントル内部の対流	
5/ 5		4 大地形の形成と地質構造	●造山帯 ●すべりや隆昇 ●収束境界	
12		5 変成岩と変成作用	●広域変成作用 ●接触変成作用 ●変成岩	
19		6 火山噴火のしくみと地形	●マグマ源 ●マグマの性質 ●火山の形	
26		7 火山の分布	●海嶺 ●おみぬみ帯 ●ホットスポット	
6/ 2		8 火成岩	●造岩鉱物 ●深成岩 ●火成岩	
9		9 地震の発生	●初断層破壊時間 ●震源と震源域 ●断層の種類と地震	
16		10 地震が起こる場所	●海溝型地震 ●プレート内地震 ●活断層	
23	第2編 私たちの空と海	11 地球の大気	●大気の組成 ●大気圧 ●大気の気圧と温度	
30		12 地球の大気で起こる現象	●対流圏 ●成層圏 ●中間圏・熱圏	
7/ 7		13 地球の熱収支	●放射平衡 ●地球の熱収支 ●緯度ごとの放射収支	
14		14 大気の大循環	●大気の流れ ●ジェット気流 ●大気の大循環	
21		15 雲と降水のメカニズム	●雲の発生メカニズム ●氷晶過程 ●衝突併合過程	
28		16 海水とその運動	●海水の温度 ●風成循環 ●深層循環	
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。				
9/ 1		17 宇宙の誕生	●ビッグバン ●宇宙の膨らみ ●宇宙の膨張	
8		18 恒星と銀河の誕生	●恒星の誕生 ●銀河の誕生 ●宇宙の大規模構造	
15		19 銀河と天の川銀河	●天の川銀河 ●銀河の形成 ●暗黒物質	

※「タイトル/学習のポイント」は、

22	第3編 私たちの宇宙の誕生	20	宇宙での物質循環	●星間物質 ●赤色巨星 ●超新星爆発	
29		21	太陽系の誕生	●星雲 ●原始太陽 ●原始惑星	
10/ 6		22	太陽系の形成	●地球型惑星 ●木星型惑星 ●惑星形成	
13		23	太陽の特徴	●黒点と光球 ●コロナ ●核融合反応	
20		24	地球の特徴	●地球と生命 ●ハビタブルゾーン ●水	
27		25	地層の形成	●地層のつき方 ●埋蔵構造 ●地層	
11/ 3		26	地層層序からわかる情報	●地質年代表 ●化石 ●地質年代	
10		27	地球の最初期	●微惑星 ●マグマオーシャン ●海洋の誕生	
17		28	先カンブリア時代	●最古の生物 ●原始細胞 ●エディアカラ生物群	
24		29	古生代	●カンブリア爆発 ●オゾン層 ●ペルム紀末の大規模滅亡	
12/ 1	第4編 私たちの地球の歴史	30	中生代	●恐竜の世界 ●被子植物 ●白亜紀末の大規模滅亡	
8		31	新生代	●哺乳類の繁栄 ●氷河時代 ●人類の進化	
15		32	地球環境の変化による生物の変遷	●全球凍結 ●大気の変遷 ●天候変動	
22		33	日本の自然環境の特徴	●日本の地理的特徴 ●日本の地形 ●降水と気候	
第5編 地球に生きるとは					
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) ※12月31日～1月3日は休講です。					
1/12		第5編 地球に生きるとは	34	日本の自然の恵み	●火山の恵み ●海の恵み ●水資源
19			35	気象災害と防災	●地震の気象災害 ●ハチーボウツナ ●四季と気象災害
26			36	地震による災害と防災	●地震 ●建物の強度 ●火災
2/ 2			37	火山による災害と防災	●火山灰の降灰 ●溶岩流 ●火砕流
9			38	地球環境の考え方	●自然現象と時間・空間スケール ●地球システム ●自然環境の変化
16			39	人間活動がもたらす自然環境の変化	●オゾン層の破壊 ●気候変動 ●地球温暖化問題
23			40	持続可能な発展へ	●IPCC ●代替エネルギー ●持続可能性とは
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) ※4月3日は休講です。					